

# 6月 世界の食事とマナーを知ろう！



## 食べものから世界を見てみよう！



## 世界の食事からマナーや食文化を学ぼう！



ビビンバ

韓国では、はしの使い方が日本と違います。ごはんやスープはスプーンで食べて、おかずを食べるときには金属のはしを使います。また、ごはんの器を手で持つことは、行儀がよくないとされ、器を置いたまま食べます。



フェイジョアーダ

フェイジョアーダはブラジルを代表する国民食として愛されています。栄養価の高い牛肉をたんぱく源としての豆と一緒に煮て、主食であるごはんと共に食べます。ブラジルの伝統的なメニューとして、各家庭で引き継がれています。



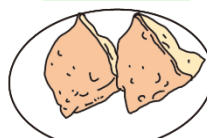
ピッツァ

日本ではピッツァは手で食べますが、イタリアでは、フォークとナイフを使って食べます。ピッツァの耳だけを残すのはマナー違反ではありません。しかし、具だけを食べて、ピザ生地を残すのはマナー違反とされています。



タコス

タコスは、メキシコのファストフードのようなものです。日本でいうおにぎり、アメリカというハンバーガーのようなものなので、特有の紙に包んで、手で食べられています。



サモサ

インドでは、食具を使わずに神様から授かった神聖なものとされている右手だけを使って食事をします。また、神様の使いとされている牛も一切食べません。



みそしる

みそ汁の一番の醍醐味は出汁の香りを楽しむことです。正しい食べ方としては、実をはしでつまんで食べ、実と汁を交互に食べます。汁を飲むときは、はし先をお椀に入れて飲みます。

## 「学べるよ 世界の皿から マナー知る」